

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第23週(令和8年6月1日～令和8年6月7日)

<発生動向>

第23週の手足口病の定点当たり報告数は、5.92となり、従前の警報レベル開始基準である5を超えました。手足口病は、口の中や手のひら、足に水疱が出来るウイルス感染症で、小児(特に幼児)がかかりやすい病気です。口の中の痛みで食事がとれなくなるため、脱水にならないよう水分を少しずつ補給しましょう。また、症状がなくなっても長期にウイルスが便中に排出されることがあるため、日頃から手洗いの実施と症状がある人とのタオルの共用はしないなど感染対策を徹底しましょう。詳しくは別紙をご覧ください。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	3	72	17	342	273	5,827
侵襲性肺炎球菌感染症	2	12	3	63	50	1,427
梅毒	4	54	12	296	165	4,586

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	18	0.78	0.22	109	0.89	1,361	0.36
インフルエンザ	3	0.13	0.09	6	0.05	261	0.07
急性呼吸器感染症	925	40.22	46.13	5,706	46.77	175,999	47.18
RSウイルス感染症	7	0.54	0.54	43	0.61	737	0.33
咽頭結膜熱	20	1.54	1.85	85	1.21	1,264	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	3.62	2.77	241	3.44	6,296	2.79
感染性胃腸炎	81	6.23	7.69	459	6.56	11,610	5.14
水痘	18	1.38	0.00	49	0.70	999	0.44
手足口病	77	5.92	3.92	490	7.00	3,186	1.41
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	10	0.14	187	0.08
突発性発しん	11	0.85	0.46	36	0.51	872	0.39
ヘルパンギーナ	16	1.23	0.77	106	1.51	671	0.30
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.08	3	0.04	114	0.05
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	1	0.04	5	0.01
流行性角結膜炎	5	0.83	0.67	36	1.38	318	0.46
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	1	0.07	9	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	1	0.50	1.50	1	0.07	112	0.23
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	10	0.02
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	23	0.05

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。
 ○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。

～注意情報～

《手足口病の患者数が警報レベルを超えました！》

令和8年第23週(6月1日～6月7日)の手足口病の定点医療機関あたりの患者報告数が5.92となり、警報レベルの開始基準である「5」を超え、急増しています。

手足口病の定点あたりの報告数(令和8年第19週～第23週)

	19週	20週	21週	22週	23週
	5/4～5/10	5/11～5/17	5/18～5/24	5/25～5/31	6/1～6/7
北九州市	1.46	1.77	3.38	3.92	5.92
福岡県	1.33	2.14	3.77	5.31	7.00
全国	0.35	0.65	0.98	1.41	集計中

※ 定点当たりの報告数とは、定点医療機関(北九州市では13医療機関)での1週間ごとの報告数を定点医療機関数で割った値です。

※ 警報・注意報は、流行状況の把握が必要な疾病について、国が保健所ごとの報告数を用いて検討・設計しています。2025年4月7日から定点医療機関数に変更となりましたが、国は、データを蓄積後に、警報・注意報の運用を検討するとしています。このため、現時点の患者報告数に従前の警報・注意報を直ちに当てはめることはできませんが、福岡県と同様に従前の基準値を用いて運用することとします。

➤ 手足口病とは

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹がみられ、子どもを中心に、主に夏に流行する感染症です。(原因となるウイルスはコクサッキーウイルスA16、A6、A10、エンテロウイルス71など)ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気ですが、まれに、髄膜炎、脳炎などの重篤な合併症が出ることがあります。

手足口病には有効なワクチンや手足口病の発病を予防できる薬はありません。治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、手足口病発症後、数週間後に爪脱落が起こる症例が報告されています。

➤ 感染経路

飛沫感染



感染した人の咳やくしゃみなどの飛沫と一緒に放出されたウイルスを口や鼻から吸いこみ感染

接触感染



ウイルスが付着したドアノブ等を触れた手で、鼻や口、目などを触って感染

➤ 感染防止のポイント



- ◇ この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。
- ◇ 症状がある時だけでなく、回復後も流水と石けんで手洗いをしましょう。おむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、必ず手洗いをしてください。
- ◇ タオルは共用しないようにしましょう。

(イラスト出典:政府広報オンライン)